

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	スポーツ振興事業	コード	113102
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 小口 康生
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興
		予算科目	スポーツ振興事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	市民が気軽にスポーツに親しむ機会・場所を設け、市民ひとり1スポーツの普及を図る。また、スポーツ大会や教室等を開催し、競技力の向上を図る。		
目的	対象者	市民	
	意図	市民スポーツの振興を図る。	

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
1	<p>スポーツ教室等 スポーツ教室（5月～3月・151回・2,687人） おかや小学生体育塾（5月～12月・40回・670人） ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室（11月～3月・21回・294人）</p> <p>2 おかやファミリースポーツプログラム スポーツイベント（6月～1月・4回・213人）</p> <p>3 スポーツ大会（主催大会） 岡谷市、市教育委員会主催大会57大会 県エースドッジボール協会主催3大会</p> <p>4 かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業 小学校1・2年生 28クラス 各クラス年6回派遣 教員等を対象とした指導者講習会を小学校7校で各1回実施</p>		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会及びスポーツ教室への参加者が減少している傾向があるため、岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し、競技者等のスポーツニーズ等を把握するなかで、参加者の増加に向けた取り組みを行った。 スポーツ教室は定員、講師人数の見直しを行なった。 ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室は、参加者ニーズに合わせ、小学生コース及び中学生コースに分けて実施した。 		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			単位	回
	実績値	208	215	216	
	*指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			
② 成果指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室の参加延人数			単位	人
	目標値	6,332	5,662	4,600	4,059
	実績値	4,052	4,059	3,864	
	達成度	64.0%	71.7%	84.0%	
	*指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室に参加した人数			
*目標値の設定方法の説明	過去三年間における実績の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	11,308,241	10,944,211	10,219,694	10,002,000
経常経費	11,121,429	10,637,511	10,169,694	10,002,000
臨時的経費	186,812	306,700	50,000	0
* 臨時的経費の説明	北信越中学校総合競技大会バスケットボール競技負担金 (H29)			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000
正規職員の人数(人)	2.25	2.25	2.25	2.25
③ 合計コスト(①+②)	29,308,241	28,944,211	28,219,694	28,002,000
前年度比		98.8%	97.5%	99.2%
財源				
一般財源	28,305,041	27,991,411	27,315,194	26,760,000
内訳				
特定財源	1,003,200	952,800	904,500	1,242,000
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	140,007	133,198	130,415	
前年度比		95.1%	97.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
スポーツ振興事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,081,000
19市体育担当課長及び体育担当主任会議出席負担金	件数	1	1	0	0
	金額	2,000	2,000	0	0
北信越国体バドミントン競技会負担金	件数	0	1	0	0
	金額	0	250,000	0	0
北信越中学校総合競技大会バスケットボール負担金	件数	0	0	1	0
	金額	0	0	50,000	0
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,083,000	1,333,000	1,131,000	1,081,000
	割合	9.58%	12.18%	11.07%	10.81%

* 行が足りない場合は追加してください

● 事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 95.2%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 84.0%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 少子化や高齢化等の社会情勢の変化に伴い、スポーツに対する市民のニーズも多様化してきている。実情に即したスポーツ推進の取り組みが必要である。	
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 参加者へのアンケート調査等を実施し、スポーツニーズを把握するなかで、開催内容、時期等を岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し取り組む。	
改善方法		
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---